

済生会新潟県央基幹病院 厚生労働大臣の定める掲示事項

当院は、厚生労働大臣の定める基準に基づいて
診療を行っている保険医療機関です。

入院基本料に関する事項について

急性期病院A一般入院料

算定病棟

(4 A、4 B - E R、5 A、5 B、6 A、6 B、7 A、7 B、8 A、8 B)

- ・入院患者さん7人に対して1人以上の看護職員を配置しております。
- ・入院患者さん25人に対して1人以上の看護補助者を配置しております。

ハイケアユニット入院医療管理料1

算定病棟 (4 B - I)

- ・入院患者さん4人に対して常時1人以上の看護職員を配置しております。

実際の看護配置につきましては、各病棟に詳細を掲示しておりますので
ご参照ください。

入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制、 褥瘡対策、栄養管理体制、意思決定支援及び身体的拘束最小化 について

当院では、入院の際に医師をはじめとする関係職員が共同して患者さんに関する
診療計画を策定し、入院後7日以内に文書によりお渡ししております。

また、厚生労働大臣が定める院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策、
栄養管理体制、意思決定支援及び身体的拘束最小化の基準を満たしております。



SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

意思決定支援について

当院では、厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえ、適切な意思決定支援に関する指針を定めております。

身体的拘束最小化の取り組みについて

当院では、多職種による身体的拘束最小化チームを設置し、緊急や、やむを得ない場合を除き、身体的拘束を行わない取り組みを行っております。

DPC対象病院について

当院は入院医療費の算定については、包括請求と出来高請求を組み合わせて算定する「DPC対象病院」となっております。

※医療機関別係数 1.6068（基礎係数：1.0583 + 機能評価係数Ⅰ：0.4051 + 機能評価係数Ⅱ：0.1127 + 救急補正係数：0.0307）（R8.6～）

明細書発行体制について

当院では、医療の透明化や患者さんへの情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に個別の診療報酬の算定項目のわかる明細書を無料で発行しております。

公費負担医療等で医療費の自己負担のない方についても明細書を無料で発行しておりますので、会計窓口にお申し出ください。

明細書は使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものです。ご家族等代理の方が会計を行った場合にも発行されます。

明細書の発行を希望されない方は精算時に明細書不要ボタンをご選択ください。



関東信越厚生局へ届出している施設基準について（R8.7～）

基本診療料の施設基準に係る届出

電子的診療情報連携体制整備加算2
継続的に賃上げに係る取組を実施している保険医療機関の基準
一般病棟入院基本料
急性期総合体制加算5
地域医療支援病院入院診療加算
臨床研修病院入院診療加算
救急医療管理加算
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算2
医師事務作業補助体制加算2
急性期看護補助体制加算
注2 夜間100対1急性期看護補助体制加算
注3 夜間看護体制加算
注4 看護補助体制充実加算2
看護職員夜間配置加算
電子的診療情報連携体制整備加算1
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
無菌治療室管理加算1
リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算1
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算1
注2 医療安全対策地域連携加算
感染対策向上加算1
注2 指導強化加算
注3 微生物学的検査体制加算
患者サポート体制充実加算
報告書管理体制加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
ハイリスク妊娠管理加算
ハイリスク分娩管理加算
地域支援・医薬品供給対応体制加算3
データ提出加算
入退院支援加算
注8 入院時支援加算
認知症ケア加算
せん妄ハイリスク患者ケア加算
精神疾患診療体制加算
排尿自立支援加算
地域医療体制確保加算2

ハイケアユニット入院医療管理料1
注3 早期離床・リハビリテーション加算
小児入院医療管理料4
入院手術対応加算

歯科
電子的歯科診療情報連携体制整備加算2
歯科点数表の初診料の注1
歯科外来診療医療安全対策加算1
歯科外来診療感染対策加算1



特掲診療料の施設基準に係る届出

外来栄養食事指導料の注2に規定する基準
外来栄養食事指導料の注3に規定する基準
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔
モニタリング加算
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料Ⅰ
がん患者指導管理料Ⅱ
がん患者指導管理料Ⅲ
糖尿病透析予防指導管理料
乳腺炎重症化予防ケア・指導料
婦人科特定疾患治療管理料
二次性骨折予防継続管理料1
二次性骨折予防継続管理料3
下肢創傷処置管理料
地域連携小児夜間・休日診療料の注2、
地域連携夜間・休日診療料の注2及び救急外来医学管理料の
注7に規定する院内トリージ実施体制加算
救急外来医学管理料1及び同注3に規定する救急外来
緊急検査対応加算
外来腫瘍化学療法診療料1
連携充実加算
心不全再入院予防継続管理料1及び2
遺伝性疾患療養指導管理注1から注3までに規定する施設基準
開放型病院共同指導料
がん治療連携指導料
外来排尿自立指導料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料1
救急患者連携搬送料
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する
持続陽圧呼吸療法充実管理体制加算
持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する
持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース
測定
遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
BRCA 1／2 遺伝子検査
HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
検体検査管理加算Ⅰ
検体検査管理加算Ⅳ
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
ヘッドアップティルト試験
神経学的検査
コンタクトレンズ検査料1
小児食物アレルギー負荷検査
画像診断管理加算1
画像診断管理加算2
C T 撮影及びM R I 撮影
心臓M R I 撮影加算
乳房M R I 撮影加算
小児鎮静下M R I 撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算1
無菌製剤処理料

心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
人工腎臓
導入期加算1
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
腎代替療法診療体制充実加算
下肢末梢動脈疾患指導管理料
ストーマ合併症加算
組織拡張器による再建手術乳房（再建手術）の場合
（内視鏡下によるものを含む。）に限る
緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節
生検（併用）（乳癌センチネルリンパ節生検加算1）
乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節
生検（併用）（センチネルリンパ節生検加算）（併用）
乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節
生検（単独）（乳癌センチネルリンパ節生検加算2）
乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節
生検（単独）（センチネルリンパ節生検加算）（単独）
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
（内視鏡下によるものを含む）
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
大動脈内バルーンパンピング法（IABP法）
骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
腹腔鏡下肝切除術
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
外科医療確保特別加算
輸血管理料Ⅱ
輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
吸入麻酔又は静脈麻酔による深鎮静（声門上器具又は
気管挿管による気道確保を伴わないもの）1
吸入麻酔又は静脈麻酔による深鎮静（声門上器具又は
気管挿管による気道確保を伴わないもの）2
麻酔管理料Ⅰ
麻酔管理料Ⅱ
高エネルギー放射線治療
病理診断管理加算
悪性腫瘍病理組織標本加算
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）の注5
看護職員処遇改善評価料
入院ベースアップ評価料

歯科
歯科治療時医療管理料
歯科口腔リハビリテーション料2
口腔粘膜処置
C A D／C A M冠及びC A D／C A Mインレー
クラウン・ブリッジ維持管理料
レーザー機器加算
歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）の注5
歯科技工所ベースアップ支援料



その他施設基準に係る届出

- ・ 入院時食事療養（Ⅰ）

酸素の購入価格について（R8.4.1～）

定置式液化酸素貯槽（CE）		小型ボンベ（3,000L以下）	
購入単価	0．08円／L	購入単価	1．50円／L



入院食事療養費（Ⅰ）の基準に係る届出について

当院は、入院時食事療養費に関する特別管理により食事の提供を行っております。

入院時食事療養費（Ⅰ）の規程においては、管理栄養士によって管理された食事が以下の時間の通り適時適温で提供することを定めております。

○朝食	0 8 時 0 0 分以降
○昼食	1 2 時 0 0 分以降
○夕食	1 8 時 0 0 分以降

また、デイルームにおいて食事をしていただくこともできます。（食堂加算）

希望される場合は、病棟看護師にお申し出ください。

この食堂加算については、患者さんの特別な負担はありません。

【1食あたりの負担額】

所得区分		料金
70歳未満	70歳以上	令和8年6月1日より
区分ア	現役並みⅢ	1食につき550円
区分イ	現役並みⅡ	
区分ウ	現役並みⅠ	
区分エ	一般	
区分オ	低所得Ⅱ	1食につき270円
	低所得Ⅰ	1食につき130円



施設基準の規定による院内掲示事項

電子的診療情報提供体制整備加算について

当院では、医師等が診療を実施する診察室等において、オンライン資格確認等システムにより取得した診療情報等を活用して診療を実施しています。マイナ保険証の利用を促進し、医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう、取り組んでいます。

算定した診療報酬の区分・項目の名称及びその点数又は金額を記載した詳細な明細書を患者さんに無料で交付しています。

また、当院は電子処方箋対応医療機関です。

一般処方名について

当院では、後発医薬品にある医薬品について特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方により処方箋を発行しております。

一般名処方によって特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者さんに必要な医薬品が提供しやすくなります。

なお、令和6年10月より患者さんが一般名処方の処方箋から長期収載品へ変更を希望された場合は「選定療養」の対象となり患者様の特別負担が発生します。

一般名処方についてご不明な点がございましたら、医師又は薬剤師までご相談ください。



歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準について

当院では、口腔内で使用する歯科医療機器等について患者さんごとの交換や専用の機器を用いた洗浄・滅菌処理を徹底する等十分な院内感染対策を講じております。

歯科外来診療の院内感染防止対策に係る標準予防策及び新興感染症に対する対策の研修を定期的に受講しております。

また、職員を対象とした院内感染防止対策に係る標準予防策及び新興感染症に対する対策等の院内研修等を実施しています。

歯科外来診療感染対策について

当院では歯科外来診療における診療感染対策に十分な体制の準備、十分な機器を有し、院内感染防止に努めています。

歯科外来診療の院内感染防止対策について研修を受けた歯科医師が常勤しております。

口腔内で使用する歯科医療機器等について患者さんごとの交換や専用の機器を用いた洗浄・滅菌処理を徹底する等十分な院内感染防止対策をしております。



歯科外来診療安全対策について

緊急時の対応、医療事故対策等の医療安全対策に係る研修を修了した歯科医師が常勤しております。

医療安全管理、医薬品業務手順等、医療安全対策に係る指針等の策定をしております。

安全で安心な歯科医療環境を提供するため、
「AED、パルスオキシメーター、酸素、血圧計、緊急蘇生セット、歯科用吸引装置」を設置しております。

ハイリスク分娩管理加算に係る分娩件数について (R7.4～R7.12)

R7.4	21件
R7.5	20件
R7.6	26件
R7.7	13件
R7.8	15件
R7.9	15件
R7.10	18件
R7.11	12件
R7.12	15件

ハイリスク分娩に係る配置医師数 3名
ハイリスク分娩に係る配置助産師数 29名



手術の通則の 5 および 6 により掲示が求められている手術の区分について（R7.1～R7.12）

区分 1 に分類される手術		区分 4 に分類される手術	
ア 頭蓋内腫瘍摘出術等	0件	胸腔鏡下・腹腔鏡下手術	601件
イ 黄斑下手術等	155件	区分 5 に分類される手術	
ウ 鼓室形成手術等	0件	ア 人工関節置換術	71件
エ 肺悪性腫瘍手術等	0件	イ 乳児外科施設基準対象手術	0
オ 経皮的カテーテル心筋焼灼術	0件	ウ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	65件
区分 2 に分類される手術		エ 冠動脈、大動脈バイパス移植術及び体外循環を要する手術	0件
ア 靱帯断裂形成手術等	8件	オ 経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）	7件
イ 水頭症手術等	0件	オ 経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	4件
ウ 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0件	オ 経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	7件
エ 尿道形成手術等	0件	オ 経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	36件
オ 角膜移植術	0件	オ 経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	28件
カ 肝切除術等	37件	オ 経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	63件
キ 子宮附属器悪性腫瘍手術等	0件		
区分 3 に分類される手術			
ア 上顎骨形成術等	0件		
イ 上顎骨悪性腫瘍手術等	0件		
ウ バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	0件		
エ 母指化手術等	0件		
オ 内反足手術等	0件		
カ 食道切除再建術	0件		
キ 同種死体腎移植術等	0件		



後発医薬品（ジェネリック医薬品）について

当院では、厚生労働省の後発医薬品の方針に従って、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用に積極的に取り組んでいます。

後発医薬品の採用にあたっては、品質確保・適切な情報開示、安定供給等、当院が定める条件を満たし、有効かつ安全な製品を採用しています。

しかし、昨今の供給停止や出荷調整などにより、後発医薬品のみならず多くの医薬品において入手困難な状況が発生しています。

当院では可能な限り医薬品の確保に努めておりますが、供給不足が発生してしまった場合には、治療計画の見直しや代替品の切り替えをさせていただく場合があります。

薬剤が変更になる場合には、十分に説明いたします。



患者相談窓口について

当院では「患者相談窓口」を患者サポートセンター内に設置しております。

無料低額診療事業（診療費減免）を行っており、非課税世帯の方、医療費高額で支払いが難しい方、病気やけがで仕事が出来ず収入が減ったなどの事情がある方は無料低額診療事業（診療費減免）が利用できる場合がありますので、ソーシャルワーカーへご相談ください。

【相談の支援】

患者さん又はその家族から疾病に関する医学的な質問並びに生活上及び入院上の不安等、様々な相談に対応する窓口を設置しています。

【入退院の支援】

予約入院の患者さんが安心して入院生活を送れるように、事前に患者さんの状態を把握し、入院前から看護師・薬剤師・栄養士等が患者さんの支援を行います。

【地域との連携】

より良い医療が受けられるように、地域の医療機関と当院が迅速で適切な連携を実施します。

患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を推進し退院の支援を実施しております。

病院内外の関係者がチーム医療で、患者の退院後までを見据えた、医療・保健・福祉を含めた包括的なサービスを提供していくことを目指します。



入退院支援について

当院では、患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を推進し退院の支援を実施しております。

院内トリアージの実施について

診察前に、患者様状態を確認させていただき、緊急性や重要度の判断を行う、診察の優先度を決定します。

診察の順番は来院された患者様の緊急度や重症度によって決定させていただく為、受付した順番での診察とはならない場合がございます。

そのため、待ち時間が長くなる場合がございますので、ご了承ください。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

外来腫瘍化学療法診療料1について

当院では、外来腫瘍化学療法を実施している患者さんが緊急時に受診・入院できる体制を確保しており、専任の医師、看護師が院内に常時1人以上配され、化学療法を実施している患者さんからの電話等による緊急の相談等に置24時間対応できる体制を確保しております。

また、化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、承認する委員会を定期的に開催しております。



コンタクトレンズ検査料について

コンタクトレンズの装用を目的に眼科学的検査を行った場合は、検査料として200点を算定いたします。

コンタクトレンズの装用を目的としている患者さんで、当院にて初めて診察を受けられる方は初診料291点を、それ以外の方は再診料77点を算定しています。

コンタクトレンズの診療を行う医師の氏名

医師名	眼科経験年数	医師名	眼科経験年数
中山 徹	44年	野崎 燿平	8年
太田 亜紀子	35年	早川 陽太	4年
佐々木 藍季子	21年	玉井 早紀	3年
吉田 博光	16年	黒澤 史門	1年
飯川 龍	13年		

下肢末梢動脈疾患指導管理加算について

当院では、慢性維持透析を実施している患者さんに対し、下肢末梢動脈疾患に関する検査を行っております。

検査の結果、専門的な治療が必要と判断した場合は、その旨をご説明し、同意をいただいた上で当院、または必要に応じて長岡中央総合病院又は新潟大学医歯学総合病院の循環器内科、心臓血管外科、整形外科へ紹介させていただいております。

緊急整復固定加算及び緊急挿入加算 (R6.4～R7.3)

大腿骨近位部骨折後48時間以内手術 144件



外科医療確保特別加算に係る高度手術の実施体制及び術後フォローアップ体制について

〈対象手術〉

胃切除術、胃全摘術、肝切除術、結腸切除術、総胆管胃（腸）吻合術、総胆管拡張症手術、胆管悪性腫瘍手術、直腸切除・切断術、腹腔鏡下胃切除術、腹腔鏡下胃全摘術、腹腔鏡下肝切除術、腹腔鏡下肝切除術、腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術、腹腔鏡下結腸切除術、腹腔鏡下人工肛門閉鎖術、腹腔鏡下直腸切除・切断術、腹腔鏡下噴門側胃切除術、腹腔鏡下脾摘出術、腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術、噴門側胃切除術、脾摘出術、膵管空腸吻合術、膵体尾部腫瘍切除術、膵頭部腫瘍切除術、膵頭部腫瘍切除術 等

なお、当院で実施していない食道がん手術等の高度専門手術については、新潟大学消化器・一般外科を中心とした検討グループにおいて、各医療機関が対応可能な手術領域や診療体制に関する情報を共有しており、患者さんの病状に応じて、適切な医療機関を紹介する体制を整えています。

〈対象手術の実施体制〉

当院外科では、専門的かつ高度な手術を実施できる体制を整備しています。また、消化器外科領域における緊急手術への対応体制を整えるとともに、時間外・休日を含めた診療体制を構築し、安全かつ継続的な医療提供に努めています。

〈対象手術のフォローアップ体制〉

術後経過が良好な場合は、連携医療機関へ紹介し術後の定期フォローアップや検査を継続します。

リハビリテーションや退院後の生活環境の整備に時間を要する場合は、患者さんの状態に応じて、連携医療機関への転院を含めた治療・支援を行います。

連携医療機関において定期フォローアップ中の各種検査で異常所見・病状の増悪を認めた場合には、当院へ紹介の上、精密検査を実施する等連携医療機関と密接に連携しながら継続的なフォローアップを行います。



個人情報保護について

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責任と考えます。

個人情報保護に関する方針を定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

敷地内全面禁煙について

当院では健康保険法第25条の定めにより、受動喫煙防止のため、屋内外を問わず敷地内での喫煙を禁止しております。

ご来院、ご入院の皆様には、禁煙（非燃焼・加熱式たばこ含む）の厳守をお願いいたします。

また、病院周辺においてもマナーをお守りいただき、病院敷地内全面禁煙にご理解とご協力をお願いいたします。

研修医・実習生について

当院は厚生労働省指定の臨床研修病院です。

指導医の指導・監督のもと、初期研修医が外来・病棟等で診療を行っております。

看護師や薬剤師など多職種の実習生を受け入れている施設であり、日本の未来を担う医療職を養成するため皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、当院には診療の補助として特定の医療行為を、医師の包括的指示のもと実施できる看護師（特定看護師）が在籍しております。



病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

当院では、病院勤務医等の負担軽減及び処遇改善のため、以下の項目について取組を行っています。

項目	目標及び取り組み計画
タスクシェア・タスクシフティングの推進	・ 特定行為研修修了者の推進及び活用
	・ 自施設での特定行為研修の実施
	・ 放射線技師、検査技師による検査説明
	・ 薬剤師による服薬指導
労働時間管理の適正化	・ 医師事務作業補助者の活用等
	・ 勤怠システムを用いた勤務間インターバルの確認と確保
複数主治医制の推進	・ 予定手術前日の当直に対する配慮等
オンコール体制の構築	・ 各診療科において当番制の導入を推進
外来機能の適正化	・ 診療科ごとにオンコール医師を配置
	・ 地域医療支援病院としての役割強化

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

当院では、看護職員等の負担軽減及び処遇改善のため、以下の項目について取組を行っています。

項目	目標及び取り組み計画
看護補助者の確保	・ 主として事務的業務を行う看護補助者の配置
	・ 看護補助者の夜間配置等
多様な勤務体制の導入	・ 夜勤専従看護師の配置
	・ 変則2交代による勤務体制等
夜勤の負担軽減	・ 月の夜勤回数の上限設定
	・ 夜勤専従看護師の配置
妊婦・子育て中、介護中の看護師に対する配慮	・ 夜勤免除制度
	・ 半日休暇、時間有休制度
	・ 所定労働時間の短縮
	・ 他部署棟への配置転換
外来機能の適正化	・ 地域医療支援病院としての役割強化



医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

当院では、医療従事者等の負担軽減及び処遇改善のため、以下の項目について取組を行っています。

項目	目標及び取り組み計画
タスクシェア・タスクシフティングの推進	・ 特定行為研修修了者の推進及び活用
	・ 自施設での特定行為研修の実施
	・ 放射線技師、検査技師による検査説明
	・ 薬剤師による服薬指導
	・ 医師事務作業補助者の活用等
労働時間管理の適正化	・ 勤怠システムを用いた勤務間インターバルの確認と確保
	・ 予定手術前日の当直に対する配慮等
複数主治医制の推進	・ 各診療科において当番制の導入を推進
オンコール体制の構築	・ 診療科ごとにオンコール医師を配置
外来機能の適正化	・ 地域医療支援病院としての役割強化



選定療養費に関する事項について

◇特別療養環境の提供

1日につき7,700円または8,800円（消費税込）の特別療養環境料（差額室料）の特別療養環境室を提供しております。

料金/日	4 A	4B	5 A	5 B	6 A	6 B	7 A	7 B	8 A	8 B	付帯設備
病床数	42床	20床	45床	40床	43床	44床	38床	43床	43床	42床	
床面積（1床）	9.59㎡	16.45㎡	10.48㎡	10.51㎡	10.24㎡	10.28㎡	11.29㎡	10.24㎡	10.24㎡	10.38㎡	付帯設備
床面積（合計）	402.93㎡	328.95㎡	471.82㎡	420.4㎡	440.12㎡	452.12㎡	429㎡	440.12㎡	440.12㎡	435.91㎡	
8,800円	410		513	558	612	658	710	757	812	856	・ 床頭台・専用椅子・テーブル・ロッカー ・ ソファ・50型TV・冷蔵庫・Wi-Fi ・ トイレ・シャワー・洗面化粧台
7,700円	401		501	551	601	651	703	751	801	851	・ 床頭台 ・ ソファ ・ 冷蔵庫 ・ シャワー ・ 専用椅子 ・ Wi-Fi ・ トイレ ・ テーブル ・ 24型TV ・ 洗面化粧台
	402		502	552	602	652	704	752	802	852	
	403		503	553	603	653	705	753	803	853	
	404		504	554	604	654	707	754	804	854	
	405		505	555	605	655	708	755	805	858	
	407		506	556	606	656	711	756	806	859	
	408		507	557	607	657	712	758	807	861	
			508	559	608	659	713	759	808	866	
			509	560	609	660	714	760	809	867	
			510	561	610	661	715	761	810		
			511	562	611	662	716	762	811		
			512	563	613	663	717	763	813		
			514	564		664	718				
							719				
							720				
							721				
							722				
							723				
							724				



入院期間が180日を超える場合の費用の徴収について

同じ症状による通算の入院期間が180日を超えますと、患者さんの状態によっては健康保険から入院基本料15%が病院に支払われません。

180日を超えた日からの入院料が選定療養費となり、1日につき3,185円（税込）は、選定療養費として患者さんの負担となります。

ただし、180日を超えて入院されている患者さんであっても、難病、人工呼吸器を使用しているなど厚生労働大臣が定める状態にある患者さんは、健康保険が適応されます。

◇その他費用について

下表のとおり、使用量、利用回数に応じた自費の負担をお願いしています。

多焦点眼内レンズ	料金/円	間歇スキャン式持続血糖測定器	料金/円
テクニスシナジー VB Simplicity	249,470	FreeStyle リブレリーダー (1台につき)	8,300
テクニスシナジー TVB Simplicity	271,470	FreeStyle リブレリーダー (1箱につき)	7,000
テクニスオデッセイ VB Simplicity	249,470		
テクニスオデッセイ TVB Simplicity	271,470		
Clareon 非球面PanOptixトリフォーカル	249,470		
Clareon 非球面PanOptix TORICトリフォーカル	271,470		
Clareon PanOptix トリフォーカル AutonoMe オートプロロードデバリーシステム	249,470		
Clareon PanOptix TORIC トリフォーカル AutonoMe オートプロロードデバリーシステム	271,470		
Clareon Vivity Extended Vision 眼内レンズAutonoMe	249,470		
Clareon Vivity TORIC Extended Vision 眼内レンズ AutonoMeオートプロロードデバリーシステム	271,470		



◇初診・再診にかかる費用の徴収について

他の保険医療機関からの紹介によらず、当院に直接来院された場合については、初診に係る費用として7,700円（歯科：5,500円）を徴収することになります。ただし、緊急その他やむを得ない事情により、他の保険医療機関からの紹介によらず来院された場合は、この限りではありません。

また、再診患者の中で病状が安定し、診療所への紹介を受けた患者さんが「かかりつけ医」の紹介無しに再受診された場合、あるいは「かかりつけ医」への紹介を当院より申し出たが引き続き当院にて診察を希望された場合（紹介状交付の有無にかかわらず）につきましては、外来診療料のほかに保険外併用療養費として3,300円（歯科2,090円）を徴収することになります。

この費用は、病院と診療所の機能分担を推進する観点から、自己の選択に係るものとして、初診料を算定する初診に相当する療養部分についてその費用を徴収できると定められたもので、200床以上の地域医療支援病院に義務付けられています。

初診の方

7,700円（消費税込）

※歯科は5,500円（消費税込）

【初診時選定療養費とは】

初診時に紹介状を持参されていない患者にご負担いただく料金です。

※ 初診とは

- ・初めて当院を受診される場合
- ・疾病が治癒したと医師が判断し診療が終了している場合
- ・診療を自己判断で中止した場合 等

再診の方

3,300円（消費税込）

※歯科は2,090円（消費税込）

【再診時選定療養費とは】

当院での治療が終了し、他医療機関への紹介後、他医療機関からの紹介状を持参されずに再度当院の受診を希望される場合にご負担いただく料金です。

下記に該当される方は、ご負担いただく必要はありません。

- ・公費の医療券を持参された方
- ・救急車で来院された緊急の診療が必要とされた方
- ・医師の指示で定期的に受診されている方



SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

◇その他保険外負担にかかる費用の徴収について

下表のとおり、使用量、利用回数に応じた自費の負担をお願いしています。

	料金/円		料金/円
開示手数料 (1件につき)	3,300	診療録の開示に伴うデータCD料	3,300
おむつ (1枚につき)	80	浴衣 (1枚)	2,300
用紙複写 (白黒) (1件につき)	11	付添ベッド貸与料 (1日につき)	110
用紙複写 (カラー) (1件につき)	55	付添寝具貸与料 (1日につき)	220
診察券再発行料 (1枚につき)	110	付添食 (1食につき)	770
持ち帰り用衣服 (半袖)	556	持ち帰り用衣服 (ズボン)	1,117
持ち帰り用衣服 (長袖)	725	体外衝撃波治療 (1回につき)	5,500
検査関連			
血清中11-DOF濃度測定 (1件につき)	11,990	シングルサイト 1サイト	33,440
MMRスクリーニング検査 (1件につき)	121,000		
治療関連			
巻き爪マイスターおよびリネイルゲルを使用した巻き爪治療			
治療費 (初回)	3,960	治療費 (2回目以降)	1,441
巻き爪マイスター (1個につき)	4,686	リネイルゲル (1包につき)	3,577

なお、衛生材料等の治療（看護）行為及びそれに密接に関連した「サービス」や「物」についての費用の徴収や、「施設管理費」等の曖昧な名目での費用の徴収は一切行っておりません。



◇産科関連の費用の徴収について

下表のとおり、使用量、利用回数に応じた自費の負担をお願いしています。

分娩取扱料					
正常	1児	200,000	時間外加算	1児	20,000
	2児以降	115,000		2児以降	10,000
帝王切開	1児	130,000	深夜・休日加算	1児	30,000
	2児以降	80,000		2児以降	15,000
その他					
手技	料金／円	手技	料金／円		
外来褥婦指導料 （1回につき）	1,100	新生児用脳出血予防薬 （13回）	1,650		
新生児聴覚検査（OAE）	4,400	新生児聴覚検査（AABR）	8,500		
ノンストレステスト （1回につき）	1,100	お産準備ノート	1,100		
産後ケア入院料（宿泊型） （1日につき）	29,000	胎盤処置料(1件につき)	1,100		
褥婦処置料（1日につき）	3,000	お産セット	7,700		
外来妊産婦保健指導料 （1件につき）	5,100	新生児保健指導料 （1件につき）	1,500		
新生児管理保育料 （1日につき）	10,000				
特殊健康診断料					
妊婦検診及び産後検診料 （1人につき）	5,000	乳児検診料 （1人につき）	3,300		
先天性代謝異常検査料 （1人につき）	3,500	希少性疾患スクリーニング 検査	9,000		
妊産婦超音波検査料 （1回につき）	1,590				
避妊処置料（リング又はウイング）					
挿入又は交換（1回につき）	38,500	抜去 （1回につき）	6,600	（麻酔を行った場合は 11,000を加算）	



◇各種文書料にかかる費用の徴収について

下表のとおり、作成回数に応じた自費の負担をお願いしています。

診断書の種類	料金(税込)	診断書の種類	料金(税込)
一般診断書(病院所定様式)	3,300	主治医意見書料(介護保険)(在宅・新規)	5,500
免許センター用診断書	3,300	主治医意見書料(介護保険)(在宅・継続)	4,400
死亡診断書(死亡届)	3,850	主治医意見書料(介護保険)(施設・新規)	4,400
死亡診断書(死亡届)2枚目以降	3,850	主治医意見書料(介護保険)(施設・継続)	3,300
死体検案書(死体検案料含む)	14,850	医師意見書料(障害者自立支援法)(施設・継続)	3,300
検察庁照会書	5,500	医師意見書料(障害者自立支援法)(施設・新規)	4,400
自賠責保険診断書	7,700	医師意見書料(障害者自立支援法)(在宅・継続)	4,400
自賠責保険診療報酬明細書	7,700	医師意見書料(障害者自立支援法)(在宅・新規)	5,500
自賠責保険後遺障害診断書	7,700	妊娠証明書	3,300
特定疾患公費負担申請用診断書(臨床調査個人票)	5,500	出生証明書	3,850
新潟県交通災害共済診断書	7,700	死産証明書	3,850
生命保険等診断書(又は証明書)	7,700	出産手当金支給申請書交付料	1,100
生命保険等後遺障害診断書(又は証明書)	7,700	出産育児一時金支給申請書	1,100
生命保険等死亡診断書(又は証明書)	7,700	育成医療意見書	5,500
生命保険等調査書	7,700	小児慢性疾患診断書料	3,300
医師面談料	7,700	肝炎医療照会書	3,300
厚生・国民・共済組合金診断書	7,700	肝炎治療公費申請診断書	5,500
身体障害者診断書・特別障害者手当認定診断書	5,500	自立支援医療(更生医療)意見書(腎臓に関する医療用)	0円
児童扶養手当認定診断書料	5,500	診断・証明書(特殊なもの)	7,700
補装具支給意見書・日常生活用具給付意見書	5,500	診断・証明書(複雑なもの)	5,500
診断書(通院医療又は精神障害者保健福祉手帳用)	3,300	その他の診断書料	3,300
アフターケア実施期間の更新に関する診断書	(5,000)	診療情報提供書Ⅰ(紹介用)	250点
公務災害認定請求用診断書(非課税)	(2,000)	診療情報提供書Ⅰ(退院時紹介料)	450点
労災10号様式(打ち切り)	(7,000)	診療情報提供書Ⅱ(セカンドオピニオン用)	500点
労災8号様式(休業補償)	(2,200)	セカンドオピニオン料	11,000
労災7号様式(装具・移送)	0円	恩給診断書料	7,700
傷病手当金意見書交付料	100点	画像CD-ROM(1枚) 注)紹介時添付用は請求不可	1,320
療養費同意書交付料(マッサージ・鍼・灸同意書)	100点		
医療費支払証明書料	3,300		
訪問看護指示書	300点		
介護職員等喀痰吸引等指示書	240点		
おむつ使用証明	3,300		



◇各種予防接種にかかる費用の徴収について

下表のとおり、接種回数に応じた自費の負担をお願いしています。

6歳以上

薬剤名	料金
肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス）	8,840
肺炎球菌（バクニューバンス）	11,550
肺炎球菌ワクチン（プレベナー13）	10,860
肺炎球菌ワクチン（プレベナー20）	11,330
肺炎球菌ワクチン（キャップバックス）	13,770
B C G ワクチン	8,760
水痘ワクチン	7,940
日本脳炎ワクチン（ジェービックV）	5,380
三種混合ワクチン（トリビック）	4,920
四種混合ワクチン（テトラビック）	10,010
五種混合ワクチン（ゴービック）	19,690
おたふくかぜワクチン	6,040
二種混合ワクチン（D T ビック）	4,840
子宮頸癌ワクチン（シルガード）	27,680
子宮頸癌ワクチン（サーバリックス）	16,680
子宮頸癌ワクチン（カーダシル）	16,680
風疹ワクチン（乾性弱毒性ワクチン）	6,590
ポリオワクチン	9,090
麻疹風疹混合ワクチン	8,900
B 型肝炎ワクチン（ビームゲン）	6,300
B 型肝炎ワクチン（ヘプタバックス）	5,850
Hib ワクチン（アクトヒブ）	8,920
带状疱疹ワクチン（シングリックス）	21,630
4価髄膜炎菌ワクチン	23,170
R S ウイルスワクチン （アレックスビー筋注）	25,370
R S ウイルスワクチン （アブリスボ筋注）	29,770

6歳未満

薬剤名	料金
肺炎球菌ワクチン（プレベナー20）	12,160
肺炎球菌ワクチン（バクニューバンス）	12,380
B C G ワクチン	9,590
水痘ワクチン	8,770
日本脳炎ワクチン（ジェービックV）	6,210
二種混合ワクチン（D T ビック）	5,670
三種混合ワクチン（トリビック）	5,750
四種混合ワクチン（テトラビック）	10,840
五種混合ワクチン（ゴービック）	20,520
おたふくかぜワクチン	6,870
風疹ワクチン	7,420
ポリオワクチン	9,920
麻疹風疹混合ワクチン	9,730
B 型肝炎ワクチン（ビームゲン）	7,130
B 型肝炎ワクチン（ヘプタバックス）	6,900
Hib ワクチン（アクトヒブ）	9,750
4価髄膜炎菌ワクチン	24,000
ロタテック	9,670
ロタリックス	13,990

